

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公開番号】特開 2000-163031 (P2000-163031A)
 【公開日】平成 12 年 6 月 16 日 (2000.6.16)
 【出願番号】特願 平 10-350728

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)
G 0 6 F 3/048 (2006.01)
G 0 6 F 15/02 (2006.01)
G 0 9 B 29/00 (2006.01)
G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 3 0 A
 G 0 9 G 5/00 5 1 0 G
 G 0 6 F 3/00 6 5 6 D
 G 0 6 F 15/02 3 1 0 Z
 G 0 9 B 29/00 A
 G 0 6 F 17/30 1 1 0 G
 G 0 6 F 17/30 1 7 0 C
 G 0 6 F 17/30 3 1 0 Z
 G 0 6 F 17/30 3 8 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像を表示可能な表示部を含む携帯情報機器であって、
 画像が表示された表示部に接触させた指の移動履歴を検出する指動作検出手段と、
 前記指の移動履歴にもとづき、画像の回転、拡大、縮小及びスクロールの少なくとも 1
 つの操作が入力されたと判断する操作内容判断手段と、
 前記判断に基づき、表示部に表示された画像に回転、拡大、縮小及びスクロールの少な
 くとも 1 つの操作を施した画像を生成する画像生成手段とを含むことを特徴とする携帯情
 報機器。

【請求項 2】 請求項 1 において、
 前記操作内容判断手段が、
 前記指の移動履歴に基づき、画像の回転量、拡大量、縮小量及びスクロール量の少なく
 とも 1 つの操作量を決定し、
 前記画像生成手段が、
 決定された操作量に基づき表示部に表示された画像に回転、拡大、縮小及びスクロール
 の少なくとも 1 つの操作を施した画像を生成することを特徴とする携帯情報機器。

【請求項 3】 請求項 1 乃至 2 のいずれかにおいて、
 前記指動作検出手段が、
画像が表示された表示部に接触させた 2 本の指を遠ざける動作を検出した場合には、
 前記操作内容判断手段が、

画像の拡大操作が入力されたと判断し、
前記画像生成手段が、
拡大された画像を生成することを特徴とする携帯情報機器。

【請求項4】 請求項1乃至3のいずれかにおいて、
前記指動作検出手段が、
画像が表示された表示部に接触させた2本の指を近づける動作を検出した場合には、
前記操作内容判断手段が、
画像の縮小操作が入力されたと判断し、
前記画像生成手段が、
縮小された画像を生成することを特徴とする携帯情報機器。

【請求項5】 請求項1乃至4のいずれかにおいて、
前記指動作検出手段が、
画像が表示された表示部に接触させた1本の指を軸に表示部に接触させた他の1本の指を回転させる動作を検出した場合には、
前記操作内容判断手段が、
画像の回転操作が入力されたと判断し、
前記画像生成手段が、
回転された画像を生成することを特徴とする携帯情報機器。

【請求項6】 請求項1乃至5に記載の携帯情報機器であって、
電子ブックとして使用されることを特徴とする携帯情報機器。

【請求項7】 画像を表示可能な携帯情報機器及び電子ブックの少なくとも一方に使用する情報記憶媒体であって、
画像が表示された表示部に接触させた指の移動履歴を検出するための情報と、
前記指の移動履歴にもとづき、画像の回転、拡大、縮小及びスクロールの少なくとも1つの操作が入力されたと判断するための情報と、
前記判断に基づき、表示部に表示された画像に回転、拡大、縮小及びスクロールの少なくとも1つの操作を施した画像を生成するための情報を含むことを特徴とする情報記憶媒体。